

Since 1973

No. 155

エヴァンゲリウム・カントライ

2024年
6月

Evangeliums Kantrei

『預言の務め』

大高伊作



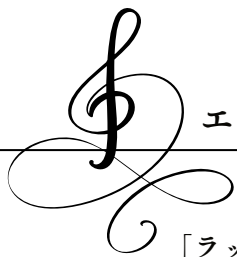
「また、ダビデと軍の長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉仕のために取り分け、豎琴と琴とシンバルに合わせて預言する者とした。」歴代誌第一25章1節

聖歌隊の働きを考える時に参考になるのが第一歴代誌25章です。1節には「また、ダビデと軍の長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉仕のために取り分け、豎琴と琴とシンバルに合わせて預言する者とした。」とあります。賛美の務めが預言として位置付けられています。この後も2節では「王の指揮にしたがって預言するアサフの指揮下にあった」とあり、3節の後半にも「豎琴に合わせて主をほめたたえ、賛美しながら預言する彼らの父エドトンの指揮下にあった。」とあります。繰り返し賛美と預言の関連性が語られています。では、賛美ならば何でも預言となり得るのかと言えばそんなことはないはずです。そこで告白し、賛美される歌詞の内容が重要です。

私たち佐倉福音キリスト教会では、今年5月に約5年ぶりとなるチャペルコンサートを、エヴァンゲリウム・カントライをお迎えして開催しました。コロナ禍前は毎年のように行っていました。2019年を最後に開催できずにいました。実は、2020年にお呼びしたいと願ってアポイントを取っていたのがエヴァンゲリウム・カントライでして、念願叶ってのコンサートとなりました。カントライがささげる賛美は預言と呼ぶにふさわしいものであり、賛美を通してみことばを語っていただきました。

コンサートの一曲目が「アダムの墮落」で始まったところにカントライの本気度を感じました。一般的に最初の曲は聴衆が知っているような曲を選ぶ傾向にありますが、カントライは違います。「アダムの墮落」から始めて、聖書全体を賛美していただきました。賛美の途中に入るナレーションも素晴らしく、それを含めると創造から新天新地に至るまで聖書全体を、賛美によって網羅していただきました。私もメッセージの時間がありましたが、メッセージがいらぬのではないかと感じる構成であり、まさに預言と呼ぶにふさわしい奉仕をささげていただきました。

最後に一つだけ感じたことを書かせていただきます。それは、メンバーに男性の数が少ないということです。私が宣伝することでもないのですが、賛美を通して預言の務めを果たしたいと祈りのうちに主に示された方は是非加わっていただければと思います。これだけ誠実に預言の務めを果たしてくださる方々はそうはおられません。少々持ち上げすぎたでしょうか。決してそんなことないということは、一度教会にお迎えすればご理解いただけるものと確信しています。これからのエヴァンゲリウム・カントライの働きのためにお祈りしていきたいと思えます。(JECA佐倉福音キリスト教会 牧師)



エヴァンゲリウム・カントライをお迎えして

「ラッパを吹き鳴らす者たち、歌い手たちが、
まるで一人のように一致して歌声を響かせ、主を賛美し、ほめたたえた。」

歴代誌第二5章13節

エヴァンゲリウム・カントライ（以下カントライとさせていただきます）という合唱団の存在を知ったのは今から38年前のことでした。その時の宣教会主催の夏期音楽講習会の講師でした岳籐豪希先生は講義の中で「教会音楽の中心はみことばを正しく伝える事なのだ。」と語っておられました。その理念が50周年を迎えた今もカントライの活動の中に貫かれていることの素晴らしさを思います。

50周年記念誌をいただき活動記録の中に2015年に千葉北総教会でカントライのコンサートがありました。この時にお誘いを受け初めてカントライの歌声を生で聞かせていただくと、少々緊張ぎみで出席し合唱団の力強い讃美に圧倒されて帰ってきたことを思い出します。大きな教会堂やコンサートホールでしか演奏をしておられないと思っていたのですが、その時からいつか佐倉福音キリスト教会にお招きしたいと願っていました。断られてしまうことを覚悟で2019年にチャペルコンサートの出演を依頼したところご快諾いただき、大喜びしていた矢先にコロナ感染拡大のために毎週の礼拝にも集まれなくなり、やむなくコンサートは中止となりました。

そして昨年カントライが活動を開始したという情報が入り、すぐに出演依頼をしました。毎年佐倉のチャペルコンサートは秋なのですが、カントライのスケジュールが埋まってしまううちに、5月18日に決定。千葉北総教会でのコンサートの感動から9年待ちに待ったカントライをお迎えしてのチャペルコンサートを佐倉福音キリスト教会で開催できたことを心から主にあって感謝しました。

前置きが長くなりましたが、期待しつつ迎えた5月18日のコンサートは私の言葉ではとても言い尽くせない、素晴らしい讃美のひと時となりました。プログラムは聖書の福音そのものが讃美となって伝えられるように組まれてあり、カントライの理念「聖書の真理を歌う」という一点に選曲されていました。讃美の一曲一曲は「まるで一人のように一致して」という聖書のみことばを思いおこす歌声でした。一人一人の賜物や練習を積み上げた努力だけではなく、その様なことを超えた合唱団の「信仰の一致」がなければ響かせることのできない歌声に深く感動し一曲が終わるごとに「アーメン」と言っていました。団員のお一人お一人が聖書のみことばを正しく理解して表現している一致が歌の響きとなっている素晴らしさを存分に味わうことができました。

オルガンの演奏もまた素晴らしく、我が教会のオルガンとは思えない迫力のある演奏に圧倒されつつ聞き入りました。遠方からおいで下さった団員の方々の尊いご奉仕に心から感謝申し上げます。これからもカントライのお働きがますます主に用いられ福音の使者として各地に使わされていきますようにとお祈りしております。

そして最後になりましたが、外部から来て下さった未信の方々の心に讃美によって語られた福音が届き神様と出会うきっかけとなるようにと願いお祈りします。

(JECA佐倉福音キリスト教会 八橋真木子)

5/18(土) 佐倉福音キリスト教会コンサート報告

5月にもかかわらず夏日となったコンサート当日でしたが、多くの方にご来場いただきました。今回は、チェロ、オルガン伴奏もあり、ひと味違ったコンサートとなりました。教会の皆様の細かやかなご奉仕にも感謝いたします。コンサートアンケートのご感想、一部をご紹介します。



- ・心に響く歌声で、この時間を過ごすことができ感謝します。
- ・合唱の醍醐味を存分に味わうことができ感謝します。
- ・みことばの賛美をたっぷり味わうことができ感謝します。
- ・声が重く届いてとても良かったです。
- ・聖歌隊は9名にもかかわらず美しいハーモニーとボリュームで感激しました。
- ・いつくしみ深きのアルト、男性の声がきれいでした。
- ・ソプラノが強く響いた。今後もお活躍をお祈り致します。
- ・お一人お一人が大変遠方から来ていただき感謝でいっぱいです。



プレカントライ in千葉/神奈川 好評開講中!

各会場で10-12名が集い、楽しく学んでいます。途中からの参加も可。
ホームページからお申し込みください。お待ちしております。

千葉 ◎日時：2025年3月まで毎月第四土曜日14:00-15:30

◎会場：保守バプテスト津田沼教会

神奈川◎日時：2025年3月まで毎月第二火曜日19:00-20:30

◎会場：JECA長津田キリスト教会

共通 ◎主な練習内容：簡単なカノン、みことばの歌など

●各会場とも8月、12月はお休みです。

2024-2025年 活動予定

2024年 11月23日(土) 湘南ライフタウンキリスト教会コンサート

12月7日(土) みなみ野キリスト教会クリスマスコンサート

12月14日(土) 横須賀ファミリークリスマス

2025年 4月12日(土) 浜田山キリスト教会コンサート(ヨハネ受難曲)

* 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

献金2024年3月-2024年5月

() 内の数字は件数です。

尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。(敬称略)

<賛助会> (教会) 川越聖書教会、前橋キリスト教会(3)、宇都宮聖書バプテスト教会
浦和福音自由教会(2)、長津田キリスト教会(2)、東京聖書教会(3)
北栄キリスト教会(3)、札幌希望の丘教会

(個人) 潮田徹、飯島勅・千雍子(3)、池田憲生・未知、塚本志津、高張美恵子(2)

<献金> (教会) 佐倉福音キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会(3)

(個人) 団員、匿名

編集後記

5月の風薫る土曜日に佐倉福音キリスト教会にてコンサートを終えることができました。
コロナウイルス感染拡大の前にお約束していたコンサートでした。開催まで長い間かかり
ましたが、主がこの日まで導いてくださったことに感謝します! (事務局)

〒251-0861 藤沢市大庭5529-8シャルマンコーポ404 小山方 Tel. 070-2834-4304

郵便振替 00100-3-21060

聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会

